

多様な力で未来を創る、 新たな杜の都への挑戦



自然と共存する
防災環境都市づくり



若い力が育ち、
活躍するまち



暮らしを守る
安全・安心



創造と可能性



令和2年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆788億円で、前年度比305億円減少したものの、震災以降引き続き1兆円を超える規模となりました。

一般会計では、子ども・子育て支援新制度に係る経費や学校建設費が増加した一方で、市庁舎整備基金造成積立金の減少や、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券発行に係る経費の減少などにより、前年度比152億円減の5,411億円となりました。

また、特別会計は公債費の減少などにより106億円減少し、企業会計はガス事業における原材料費の減少などにより47億円減少しました。

歳入 繰入金や諸収入が減少

繰入金については、公共施設保全整備基金からの繰入の減少などにより、145億円減少しました。諸収入については令和元年度に発行したプレミアム付商品券販売収入の減少などにより44億円減少しました。また、市税収入は税制改正の影響などにより、10億円減少しました。

歳出 義務的経費は増加、投資的経費は減少

【目的別の歳出】 子育て支援や障害者福祉などに要する費用である健康福祉費は、子ども・子育て支援新制度関連などにより増加し、2,054億円（38.0%）と最も大きな割合を占めました。次いで学校建設費の増加などにより教育費が977億円（18.0%）、公債費が573億円（10.6%）、土木費が570億円（10.5%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障給付等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、会計年度任用職員の導入や、子ども・子育て支援新制度関連などにより前年度に比べて73億円の増加となりました。また、投資的経費は、復興事業の進捗などにより、前年度に比べ15億円の減少となりました。

「多様な力で未来を創る、新たな杜の都への挑戦」に向けた財政運営

本年度は、施政方針に掲げた施策の4つの柱である「若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦」・「創造と可能性への挑戦」・「自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦」・「暮らしを守る安全・安心への挑戦」に重点的な予算配分を行いました。

また、将来の税収増につながる地域経済の活性化、公共施設の計画的な保全および更新など、引き続き持続可能な財政基盤の確立に向けた取り組みを進めていきます。

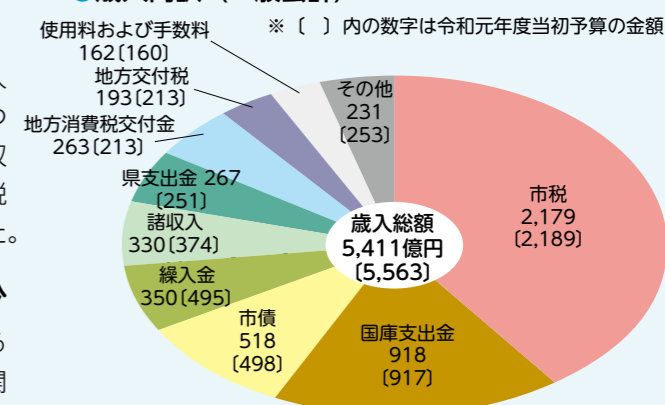
予算についてのお問い合わせは
財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、
または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

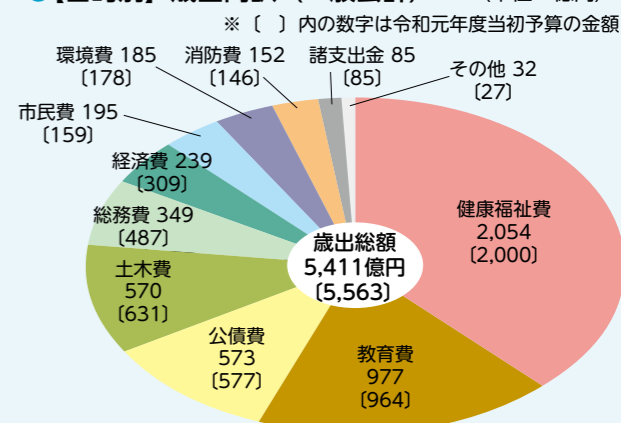
令和2年度の会計別の予算規模

	令和2年度（前年度比）
一般会計	5,411億円（152億円減少）
特別会計	3,064億円（106億円減少）
企業会計	2,313億円（47億円減少）
合計	1兆788億円（305億円減少）

歳入内訳（一般会計）



【目的別】歳出内訳（一般会計）



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

